



R7年 6月

市野谷つばさ保育園

最近暑い日が続くかと思ったら肌寒い日があったり…で選ぶ洋服も難しく体調を崩してしまいがちではないでしょうか。そんな中でも園の中には子どもたちの元気な声が響き渡っています。

それぞれのお部屋では、2歳児クラスでは園庭で見つけたあおむしを観察ケースに入れてみんなで毎日覗いています。「ごはん食べてるー！」など日々さまざまな発見があるようです。

幼児組では観察ケースのあおむしを虫眼鏡を使ってじっくり見ている子、カブトムシの幼虫のケースのお世話をする子さまざまで、先日はあまりにも少なくなった土の上に出てきてしまった幼虫の姿を見て、「どうしたんだろう？」と自分たちで考え、土を足したら幼虫も喜ぶということで事務所に「土を買ってください」とお願いに来た子たちもありました。

小さな命に目を向けて大切にしよう自分たちで考え、動こうとする姿に子どもたち一人ひとりの成長を感じました。



2日(月) 乳児身体測定

3日(火) 幼児身体測定

5日(木) 防犯教室・訓練

10日(火) 保護者参観懇談会

12日(木) なかよし広場

13日(金) 避難・消火訓練

20日(金) お誕生会

なかよし広場

子育て支援だより

昨年度に引き続き、今年度も『つばさシェア』をスタートしました！ つばさシェアでは、保護者の皆様の子育ての悩みを共有し、保育者や他の保護者からアドバイスや経験談をもらえる仕組みです。

【♣今月のお悩み♣】 子1歳1か月・保育者A先生より

毎朝時間に追われ、朝ごはんの準備が大変…。レパートリーもあまりないです。

固定化した方がいいのでしょうか。また、皆さんはどんな朝ごはんですか？

【※みんなからのアドバイス※】

・確実に食べてくれるメニューを、毎朝出すのもいいと思います♪1週間を通して、バランスがとれていればいいかな☆とりあえず何か食べるのが大事！（さやか先生より）

お悩みは、こちらのQRコードから投稿してください👉



投稿していただいたお悩みを園で一度確認の上、掲示させていただきます。その際、保護者の皆様の経験談や工夫などを回答できるフォームも載せますので投稿していただけると嬉しいです♪回答も含めた内容を、再度おたより等で掲示しシェアしていきます！

『一人で悩まない!』『みんなで子育て♡』を合言葉に、子育てのヒントやつながりを広げていきましょう。是非お気軽にご参加ください♪

今年度初めてなので、
今年復職した保育者のお悩みを…

《保育目標》

- すみれ組 ・ 梅雨期の自然に触れ、遊びの中で季節を感じる。
・ 保育者とのふれあい遊びを楽しむ中で心地良さを味わう。
- つくし組 ・ 身の回りのことに興味を持ち、保育者と一緒に行ってみようとする。
・ 保育者とのかかわりに安心感をもち、少しずつ友だちに興味をもって一緒にあそぼうとする。
- たんぽぽ組 ・ 雨や水たまりなど、身近な事象に触れながら梅雨の自然に興味を持つ。
・ 身の回りのことに意欲を持ち、自分で出来ることはやろうとする。
- ゆり組 ・ 梅雨時期の自然に触れ、保育者や友だちと一緒にさまざまな遊びを楽しむ。
・ 自分の思いを保育者や友だちに言葉やしぐさで伝えようとする。
- ばら組 ・ ルールのある遊びのきまりを守りながら、友だちと楽しく遊ぶ。
・ 身近な自然に触れ、発見を楽しむ。
- ひまわり組 ・ 友だちとの関わりを深め、自分の思いを伝えたり相手の話を聞こうとする。
・ 梅雨の自然を知り、天気の変化や雲の動きなどに興味を持つ。



このたび、市野谷つばさ保育園の園長に就任いたしました五十嵐真介と申します。ご挨拶が大変遅れまして申し訳ありません。何卒よろしくお願い致します。

今回はこの場をお借りして、私が大切にしている想いや願いを記させて頂きたいと思います。少々お付き合いくだされば幸いです。

私は「子ども時代を、子どもらしく！」の言葉を大切にしています。

この言葉は、子ども時代にしか味わえない体験を大人の都合や効率だけを優先せず、子どもたち一人ひとりの「今」を受け止めながらその子らしさを大切にしていこうといった想いが込められています。

親の働き方が変わり、明らかに私が育った幼少期とは違う現代。育児に関しての受け取り方も変化しています。厚生労働省が掲げる《職場における子育て支援》には、「子育てや介護をしながら働き続けられるよう、仕事と家庭を両立しやすい職場環境づくりを推進する」といったことが記されています。しかしながら、全ての企業が取り組んでいるわけではないことは明らかです。仕事と子育ての両立、夫婦で協力しても手が足りない・・・おじいちゃんやおばあちゃんの協力あって成り立つ場面もあると思います。そういった現状が皆さんの目の前で起きていれば、子どもらしく過ごせるための環境や考えを定着させることは簡単ではないですね。では、子ども時代に子どもらしいことが経験出来る場所ってどこでしょうか？皆さんが毎日足を運んでいる保育園はいかがでしょうか？

実は一番身近な場所に「子ども時代を、子どもらしく」過ごせる場所があると思います。

当園では、「見守る保育」を保育の柱として取り入れています。

「見守る保育」とは大人が先回りして教えたり、手を出したりするのではなく、子ども自身の「やってみよう！」「知りたい！」「できた！」という気持ちに寄り添い、子どもが主体となって活動できる保育の考え方です。大人の都合や効率だけを優先しない環境がここにはあります。

子ども時代を子どもらしく過ごす経験は、子どもが自ら前へ進む為の《自立》と、自らをコントロールするための《自律》を養っていく力となっていきますので、皆さんと一緒に考え、皆さんと一緒に成長を喜び、時には皆さんと落ち込み、毎日の育児を保育者と一緒に「すったもんだ」しながら楽しんで行えるようにして頂けたらと願います。

今後も時々ではありますが、保育や教育、社会へ目を向けて皆さんに発信できたらと考えていますので、どうぞよろしくお願い致します。